



第55号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL(052)411-5301

FAX(052)411-5341

携帯 090-1568-4623

<E-mail>

matsuoka@kosanji.or.jp

法義相続

ほうぎ そうぞく

ある人は夫を亡くし正信偈をお勤めするようになりまし  
た。まったく読めませんでした。始めのうちはただとし  
く、ゆつくりと読んでいました。そしていつの間にかスラ  
スラと読めるようになりました。

その人は夫の三回忌を勤めて数年後に亡くなりました。

そうしたら、母の葬儀を終えてからその娘が、

「お経を読んだことなどなくて、まったくお経を読めませ  
んが、これから覚えて読みます」と言いました。

母の念仏する姿が、娘を念仏させるのだと思いました。

念仏の教えの伝わり方とはこういうものなのかと漠然と  
感じ、阿弥陀如来の広大なる力を垣間見た感動を覚えまし  
た。

私の脳裏にも、私が幼かった時に見た祖父の熱心な仏へ  
の謝徳の姿があります。みなさんはどうでしょうか、幼か

った時に見たおじいさん、おばあさんの信心深い念仏する  
姿が記憶にありませんか？

次は自分が子孫に念仏する姿を見せる番なのです。



(撮影 寺西税)

## 仏説阿弥陀経に登場する仏弟子

伊藤和美

摩訶劫賓那

このお弟子さんは別名「金毘羅」とも呼ばれています。いわゆるあの有名な金毘羅様です。さらに中国では「房宿」と言われています。

諸説はいろいろありますが、一部を紹介します。

この方は王族の跡継ぎとして生まれ王様に即位しました。食物がどこから生じるか、という質問に、蔵より生じると、言ったぐらい裕福に育てられたといえます。その後、知識を深めようと旅に出ました。旅の途中に商人から祇園精舎ぎおんしやうじやにお釈迦様がみえるという情報を耳にして祇園精舎を目指します。途中、チャンダバーガーという河で大雨に遭い、仕方なくその近くの宿で暮らしました。宿で暮らしている間、年老いた尼さんも一緒にその宿に暮らしておりました。その尼さんに摩訶劫賓那はさまざまなお説教をされ、ついには悟りを開くのでした。

実はこの年老いた尼さんは、お釈迦様の化身でした。その後、その後も禅の修行に励み、摩訶劫賓那は智宿第一と言われました。

## 真夏の暁天講座に学ぶ

村上三智雄

オリンピックが始まった七月下旬。烏森の相応寺で暁天講座が開かれた。名古屋教区二十組主催の暁天講座と同じくらいの時期に毎年、相応寺で暁天講座が行われている。

今回の講師は北畠知量師きたはたけちりょうで日本人の宗教感覚・本物の宗教・自我の超え方の三つを順に黒板に書きながら法話をされた。

日本人の半数は自分の家の宗派もわからないらしい。神道や仏教やキリスト教など、まったくごちゃまぜに信じている。まして仏事のことになると特にわからないと、少し皮肉ってみえたが本当のことだから仕方がない。

次に本物の宗教は親鸞聖人の教え、浄土真宗であると  
言われ、一言で「自我を超える」ことを親鸞聖人は顕あきかにされたことを強調された。そして、自我の正体は『見

せかけの自分』と『本当の自分（本心）』と『その二つの自分に執着する自分』である。自我の乗り越え方とは執着心を捨てることである。それはあまりに難行である。死期が近づくと人は自我への執着心が自然になくなっていくのではないかと言われた。

嫁いびりの頑固な姑しゅうとめが末期に枕もとで嫁に「世話になった」とまるくなったという話を例に出され、そういうことはよくあることで、これこそ執着という煩惱から解放される時に出てくる言葉であると諭された。しかし若い時にはこんな心境になかなかない。

最後に北畠師は、われわれ凡夫は、執着心を燃やし尽くせばよいと言われた。

早朝とはいえ無風で少し蒸し暑かったが、法話は一服の清涼剤なりとなりました。お取り持ちしてくださいました相応寺の皆さん、ありがとうございました。



(撮影 寺西税)



【別院 報恩講の助音じょいんのご案内】

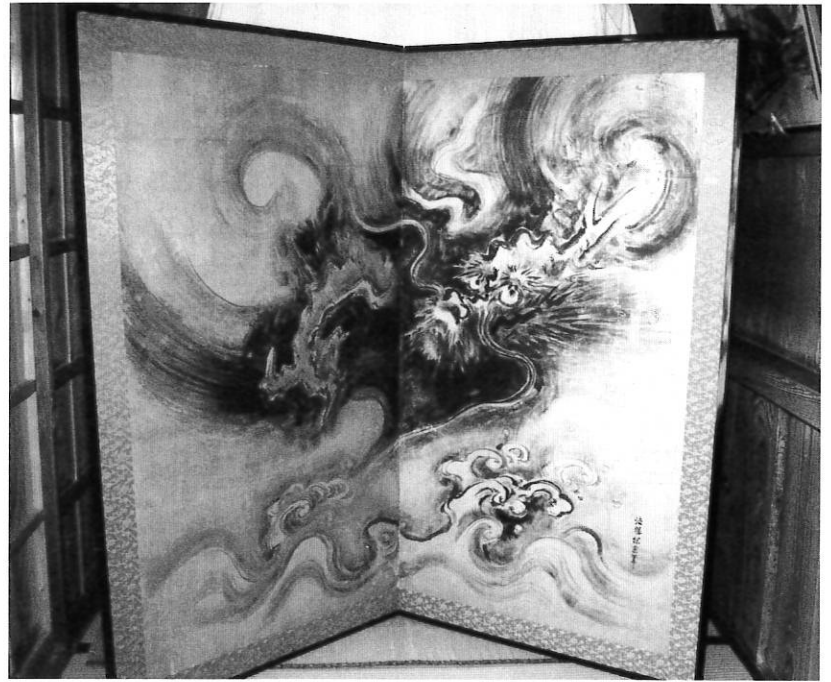
十二月十五日(土) 十一時 受付

おとぎ

お勤め練習

二時 報恩講

(会費 三千元)



(撮影 寺西税)

行事予定

十月十三日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(金) 二時～四時 学習会

二十八日(日) 十時 二十八日講・女人講

十一月一日(木) 二時 常任委員会

十日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(月) 二時～四時 学習会

二十八日(水) 九時 おみがき

二十八日講・女人講

三十日(金) 九時 報恩講準備

十二月一日(土) 十時 報恩講

二日(日) 十時 報恩講